

提案審査書類の審査結果及び審査講評

1 工事名

令和2年度 中田切川地点発電所建設事業

2 審査日

令和3年3月17日

3 参加資格審査書類提出者

参加資格審査書類提出者名	参加資格の有無
熊谷・シーテック・吉川特定建設工事共同企業体	有
信州グリーンエネルギー事業(中田切川)共同企業体	有
ヤマウラ・北電技術コンサルタント共同企業体	有

4 審査結果

(1) 熊谷・シーテック・吉川特定建設工事共同企業体

評価項目		評価点
非価格 審査項目 (190点)	事業全体に関する項目 (75点)	46.6
	設計建設業務に関する項目 (115点)	64.1
価格審査項目 (10点)		7.3
合計点		118.0

(2) 信州グリーンエネルギー事業(中田切川)共同企業体

評価項目		評価点
非価格 審査項目 (190点)	事業全体に関する項目 (75点)	37.5
	設計建設業務に関する項目 (115点)	60.3
価格審査項目 (10点)		10.0
合計点		107.8

(3)ヤマウラ・北電技術コンサルタント共同企業体

評価項目		評価点
非価格 審査項目 (190点)	事業全体に関する項目 (75点)	50.1
	設計建設業務に関する項目 (115点)	73.6
価格審査項目 (10点)		7.5
合計点		131.2

5 審査講評

技術評価会議の評価の概要は以下のとおりです。

熊谷・シーテック・吉川特定建設工事共同企業体においては、JVにとどまらず参画予定企業も含めて事業体制が整えられていました。また、独自の工法によりスケジュール短縮を期待できる提案がされていました。

信州グリーンエネルギー事業(中田切川)共同企業体においては、SDGsに目を向けるなど事業に対して高い理解が示されていました。また、発電所建設に経験値を感じられる提案がされていました。

ヤマウラ・北電技術コンサルタント共同企業体においては、発電所建設予定地域への深い理解のもと、複数案を比較検討するなど本事業に対して非常に研究された提案となっていました。また、周辺企業や下流利水者などに配慮した提案がされていました。

評価会議は、公正な審査の上で、評価点の最も高かったヤマウラ・北電技術コンサルタント共同企業体を優先交渉権者として選定しましたが、いずれの者の提案も十分に期待の持てる内容でした。3者の多大なる努力に対し、深く感謝を申し上げます。

ヤマウラ・北電技術コンサルタント共同企業体に対しては、県が示した事業条件はもちろんのこと、提案審査書類及びプレゼンテーション時の質疑応答の内容を、提案価格の中で確実に履行することを求めますが、その上で、次の事項を評価会議の意見として尊重することも求めます。

○土砂の流入対策

土砂の流入量の多い河川状況を考慮して、なるべく土砂の流入の少ないスクリーン構造や現場状況を踏まえた沈砂池の設計を行うこと。

○建設費の抑制

ECI方式の特徴を踏まえて業務を推進し、建設費抑制を考慮して設計業務にあたること。